

7 芸術（美術）

学校番号 208

令和3年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	美術Ⅱ（光村図書）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅰの「基本技能の学習」から、美術Ⅱでは「主題の設定とその表現」へとステージアップします。

1学期は1年生に続き色彩の学習です。昨年の「色相」に続き、「明度」「彩度」という2つの要素を学習し、「トーン」という体系にまとめます。

このトーンを使い、イメージを色彩で表現する考え方を学びます。

2学期は自分で設定したイメージ（概念）を色彩に置き換える制作をします。

第1課題は、任意の単語をテーマに、単語が持つイメージに合った配色で色彩構成を行います。第2課題は「世界がもし100人の村だったら」を使い、自分でテーマを設定し、資料を集め、ポスターとして色彩構成をします。

2学期は自らテーマ（ゴールとなる目標）を設定することがキーポイントです。

3学期は「メディア表現」として、デジカメを使ったストップモーション動画に取り組みます。グループ制作を通して、グループ内でのイメージの共有を図るとともに、どうしたら鑑賞者にストーリーが伝わりやすくなるかを学びます。

2 学習の到達目標

- ① 美術作品の鑑賞や、制作を通して表現の狙いを考えることができる。（鑑賞の能力）
- ② ①の発見を体系的に捉え、使うことができる。（構想の能力、創造的な技能）
- ③ 鑑賞者に①を伝えることを目標に、丁寧に制作に取り組むことができる。（意欲・態度）

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	・説明をよく聞き理解に努めている ・意欲的に取り組んでいる	・課題から自分の「表現のねらい」を立てることができる ・「ねらい」に合った方法、技法を選ぶことができる	・「表現のねらい」を他人に伝えるに相応の、作品の作り込みができる。	・美術作品の鑑賞を通して「作品のねらい」に気づくことができる。 ・自身の作品について、鑑賞者に「ねらい」をとらえて伝えられるように文章としてまとめられるか？
評 価 方 法	・授業態度や制作の様子を 観察評価	・ワークシートやアイデアスケッチなどを ループリック評価	・各自が立てた「表現のねらい」についてどの程度迫ることができたかを、 作品のパフォーマンスで総合的に評価	・鑑賞課題において、ワークシートの内容を ループリック評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			A	b	c	d		
1学期(8w)	ガイダンス(1h)	<ul style="list-style-type: none"> ・年間授業計画 ・美術Ⅱの学習目標「ねらいを自分で設定する」ということについて ・授業の受け方について ・学習目標 						
	トーン表制作(2w)	【デザイン】 ○配色カードを切り貼りし、明度一覧を作る。(1h) ○清色の彩色(1w) ○濁色の彩色(1w)	○ ○ ○		○ ○ ○		a:意欲的に制作に取り組んでいるか？ c:絵の具の混色の仕組みを理解し、ねらいの色を作ることができるか？ また平塗りができるか？	制作の様子 作品
	モネの時間表現(1w)	【美術・鑑賞】 ○モネの作品から、時間という形のないものをどう色彩で表現するかを探る。 ・モネの作品解説(1h) ・春夏秋冬のイメージを配色カードから探し出す(1h)	○			○	a:説明を聞き、課題理解に努めているか？ d:作品から、モネの表現のねらいである時間表現の特徴を整理し、理解に努めているか？	授業の様子 ワークシート
	トーン配色の学習(1w)	【デザイン】 ○トーン配色(明度・彩度の対比の4パターン)を学習する。(1h) ○前回の四季のイメージ配色をより効果的に表れるよう配色カードを使って並べる(1h)	○		○		a:説明を聞き、課題理解に努めているか？ b:表現のテーマに合った配色を、モネの作品を参考に選び組み合わせることができているかどうか？	授業の様子 ワークシート
	季節の照明の制作(3w)	【デザイン】 ○四季の色を使った照明を制作する。 ・木枠の制作(1w) ・彩色(2w)	○ ○		○ ○		a:意欲的に制作に取り組んでいるか？ c:アクリルガッシュの使い方を理解し、丁寧に表現できているか？	制作の様子 作品
2学期(11w)	田中一行為の表現(1w)	【鑑賞】 ○田中一光の作品を通して、単純な色彩や形が「抽象的な」イメージを表現すること学ぶ ・田中一光のDVD鑑賞(1h) ・トーンイメージを使い、言葉が持つ印象を配色カードで表現する(1h)	○			○	a:説明を聞き、課題理解に努めているか？ b:1年時の色相配色や1学期のトーン配色パターンが持つ表現の特性を理解し、配色できるかどうか？ d:コメンテーターの発言を聞き取り、その内容の理解ができているか？	授業の様子 ワークシート

	イメージ表現①(3w)	【デザイン】 ○言葉のイメージによる色彩構成 ・下書き・構成・配色計画(1w) ・着彩(3h) ・合評(1h)	○	○		○	a:制作に対し意欲的に取り組んでいるか b:言葉が持つイメージを、配色と構成の両方に生かして構想できるかどうか？ c:アクリルガッシュの使い方を理解し、丁寧に表現できているか？ d:自分の作品に対しての、「表現のねらい」と「表現の方法」を言葉でまとめてとらえることができるか？	制作の様子 ワークシート 作品
	イメージ表現②(7w)	【デザイン】 ○「世界がもし100人の村だったら」をテーマとしたポスターを制作する。 ・課題説明(1w) ・資料収集(1w) テーマレポート提出 ・アイディアスケッチ レタリングレイアウト枠決定(1w) ・レタリング(1w) ・下書き(1W) ・彩色(2w)	○	○		○	a:説明を聞き、課題理解に努めているか？ b:自らテーマを設定し、必要な資料を収集できるか？ b:表現のねらいを踏まえた、構成を考えられるか c:アクリルガッシュの使い方を理解し、丁寧に表現できているか？	授業の様子 ワークシート 作品
3学期(6w)	ピクシレーション動画体験(2w)	【映像メディア表現】 ○ピクシレーション動画の体験 ・課題説明／絵コンテ(1w) ・練習撮影(1w)	○	○		○	a:しっかり説明を聞き課題理解に努めているか？ b:自発的にアイディアを出し、その面白さをグループや鑑賞者に伝えるための取り組みができているか？ c:グループメンバーとコミュニケーションを取りながら、表現方法に留意しつつ面白い作品を作り上げられているか？	ワークシート 制作の様子 作品(絵コンテを含む)
	絵巻物(1w)	【鑑賞】 伴大納言絵巻を資料として、効果的な場面転換やカット割りを考える ・作品解説、「子供の喧嘩」シーンの異時同図をコマ割りで表現(1h) ・「謎の人物」から、事件の全貌を推理する(1h)	○			○	a:しっかり説明を聞き課題理解に努めているか？ d:作品鑑賞を通して、表現の特徴を理解し、必要に応じて使い分けることができるか	授業の様子 ワークシート
	ピクシレーション作品制作(3w)	【映像メディア表現】 ○体験で制作した動画をもとに、ストーリーやカメラワークを練り直し、鑑賞者に伝わる動画表現をする。 ・練習作品上映。絵コンテやカメラアングルの再検討(1w) ・本番撮影(1w) ・鑑賞(1w)	○	○		○	a:グループの役割分担に基づき、制作に意欲的に取り組むことができるか？ b:ピクシレーションの不思議さを損なうことなく、カメラワークやカット割りを駆使して、わかりやすいストーリーに再構成できるか？ c:体験作品の反省を生かして、協力的に撮影に取り組んでいるか？ d:自らの制作について、面白さを的確にとらえて、まとめることができるか？	授業の様子 ワークシート 作品

*標準的な授業時間数を()で記すが、授業時間数によって変動する。

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度 b:発想や構想の能力
c:創造的な技能 d:鑑賞の能力

- ※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。